

9月のイベントは「防災の日」。

23日は「スマイルフェス」に参加しました



9月のイベントは1日の「防災の日」にちなんで店頭「防災用品コーナー」を設置。対象商品をお買い上げのかたへ「五目ごはん」を差し上げました。日頃の備えだけでなく、キャンプなどのアウトドアにも便利な防災用品。普段使いでいざという時に備えておくとういかもしれません。



9月23日に市役所の駐車場、産業会館で3年ぶりに行われた「スマイルフェス」に参加しました！
台風が接近しており、雨が降ったり止んだりで正直お出かけや屋外イベントには不向きなお天気でしたが、そんな心配はいらないくらいたくさんのお子様にお立ち寄りいただきました。地下でひっそりと設営していたブースでそんな調子でしたので、外は本当にたくさんのご来場があったことでしょう…。



ブースでは「文房具・SDGs クイズ」「SDGs クイズのおさらいクイズ」「みんなで文具のなる木に葉っぱをつけよう」という3種類のイベントを用意。おさらいクイズに参加していただいたかたへ「ぶんちゃんシール」を差し上げました。ホログラムタイプも用意。こちらは10枚に1枚出るかのレア仕様でした。

みなさんに指スタンプで葉っぱをつけていただいた「ミニ文具のなる木」も、A2サイズいっぱいカラフルな作品が出来上がりました。現在、本物の「文具のなる木」の下に凱旋中です。本当にきれいで、カワイイので、ぜひ一度実物を見に来てくださいね！たくさんのご参加、ありがとうございます。

ちょこっと豆知識 ナゼ丸い？ナゼ削ってある？？ 色鉛筆のナゾ！

芸術の秋。絵を描いたり、塗り絵をしたり。今回はこの時期大活躍？な『色鉛筆』について、言われてみれば確かに…知らなかった…という豆知識をご紹介します。

色鉛筆は1795年、フランスで生まれました。コンテという科学者が、硫黄の代わりに粘土を黒鉛と混ぜ、焼き固めて芯を作ることを見出しました。（これがいわゆる素描やデッサンで使う「コンテ」です！）ちなみにこの頃は赤褐色と白のみでした。現在のように多彩なものが出来上がったのは、19世紀中頃以降。イギリスやドイツで顔料と粘土の配合から生まれました。現在は粘土を使わず、蝋（ワックス）や油脂を使い、顔料で色をつけています。

そんな色鉛筆について、鉛筆は削る前の段階で販売していますが、セットで買うと必ず「芯が削ってある」のはナゼでしょうか。実は理由はとても単純。鉛筆は「1本ずつ」使うのに対して、色鉛筆は「一度にたくさんの種類」を使うので、削る手間を省くためでした。

そしてもうひとつのナゾ。なぜ（基本的に）丸軸なのか。色鉛筆は芯が柔らかく、芯と軸の距離にばらつきが出る角軸だと「芯を十分に保護できない」から。現在では技術の進歩によって六角のものもできましたが、絵を描いたり、色を塗ったりなど、色々な持ち方のできる指あたりのよい丸軸の方が、結局は色鉛筆に適しているのです。

また、鉛筆なのに鉛筆用の消しゴムで消えないのは「芯の素材に使われた蝋（ワックス）や油脂と顔料が混ざり合っているため、油が紙に染み込むように、顔料が紙に染み込んで粘着している」から。なので、色鉛筆を消したり、薄くしてグラデーションを作りたい時は、色鉛筆用の消しゴムを使う必要がある！ということなんですね。

同じ「鉛筆」でも色鉛筆は実はこんなに違うものなのです。



stationery goods
BUNseido
株式会社 文盛堂

TEL 042-752-2303(代表)

042-752-1104(店直通)

FAX 042-755-5117

〒252-0237

相模原市中央区千代田 6-1-18

U R L <http://www.bunseido.net> MAIL bunseido@bunseido.net

ショッピングカードもあります

LINE

@wdi0003d



Instagram

@bunseido



Youtube チャンネル

ぶんちゃんねる

しんぶんちゃんねる以外にもこちらで最新情報をお届けしています！